

整理番号
173

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	商工業振興対策事業					担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	商工振興係
施策項目	3	商業				計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	1	商工会と連携した事業者支援				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	7	1	2	商工業振興対策事業		

目的と方針【PLAN】	魅力ある商業環境づくり、大型商業施設との共存共栄に向け、商工会や既存事業者と連携し、市民誰もが楽しく過ごせる持続可能な商業地づくりに向けた取組を推進します。		
事業概要【PLAN】	市内商工業の振興に向け伊達市商工政策審議会を開催し、市内商工業の振興・活性化を推進します。		
対象【PLAN】	市内商工業事業者	意図【PLAN】	市内商工業が活発な経済活動が行われること
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市内経済団体の長などで組織した伊達市商工政策審議会において、市内商工業の振興・活性化を協議する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	4,440			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	192,756			
	一般財源	千円		375	22,939	23,213			
	事業費合計	千円		375	22,939	220,409			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
商工政策審議会開催数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市内商工業全体の振興を図るために必要な組織であり、社会情勢や市内商工業の状況により対策を講じていく必要があることから、優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市内商工業の振興を図るため、商工業振興計画の策定や、商店街の活性化策の提案など目標達成に向けた事業効果は高く、社会貢献度も高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	協議内容によっては会議を文書会議にするなど、時間や費用を抑える工夫を行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年度は市長からの諮問に対し、商店街の活性化策を答申することができた。次年度は商工業振興計画の改定の準備期間となることから、市と連携し意見交換しながら事前調査を行っていく必要がある。

整理番号
174

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	商店街活性化事業					担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	商工振興係
施策項目	3	商業				計画期間	令和５年度　～　令和５年度
主な取組	1	商工会と連携した事業者支援				事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業		
	1	7	1	2	商店街活性化事業		

目的と方針【PLAN】	魅力ある商業環境づくり、大型商業施設との共存共栄に向け、商工会や既存事業者と連携し、市民誰もが楽しく過ごせる持続可能な商業地づくりに向けた取組を推進します。		
事業概要【PLAN】	商業の振興、交流人口拡大を促すため既存施設改修や新商品開発、イベント創出など商店街活性化に係る支援を行います。		
対象【PLAN】	市内商工業事業者	意図【PLAN】	商店街等商業事業者が活性化され持続可能な経営が行われるようになること
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	既存施設改修や新商品開発、イベント創出などに取り組む事業者へ補助金を交付する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		2,000	1,040				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		3,569	5,176				
	一般財源	千円		7,363	0				
事業費合計		千円		12,932	6,216				

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
商店街活性化に係る支援件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	5	6	8	8	10
			実績値	15				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	制度の認知度が高まり、利用者も増えており、社会的需要はまだあると考えられる。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	事業者への支援により、目標達成に向けた成果が出ている。また、制度を活用した事業者は満足していることから、社会貢献にもつながっている。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	申請手続きにおいて書類への押印省略など利用者の利便性を高めた。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	商工業振興対策事業に統合

整理番号
175

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業					担当課	商工観光課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	観光振興係
施策項目	3	商業					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	1	商工会と連携した事業者支援					事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業			
	1	7	1	4	観光物産振興事業			

目的と方針【PLAN】	魅力ある商業環境づくり、大型商業施設との共存共栄に向け、商工会や既存事業者と連携し、市民誰もが楽しく過ごせる持続可能な商業地づくりに向けた取組を推進します。								
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	大型商業施設の集客力を活かした観光振興・地域経済活性化を図ります。								
------------	-----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市外からの来訪者			意図【PLAN】	関係・交流人口増加のため				
----------	----------	--	--	----------	--------------	--	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光PR								
----------------------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		4,250	0	2,278			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		240	240	342			
	一般財源	千円		42,911	65,173	63,097			
	事業費合計	千円		47,401	65,413	65,717			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
大型商業施設の集客力を活かした観光振興策	件	実績値が目標値以上となること	目標値	—	—	—	2	3
			実績値	—				
			達成率	—				

(２) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	今後開業が予定されている大型商業施設と連携した観光振興や周遊施策の実施し、来客者を市内へ誘客し関係・交流人口の増加を図り地域活性化につなげる必要があることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	今後、庁内担当部局との協議、検討により、効果がある観光振興策を実施する必要がある。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	大型商業施設開業までに、必要な規模を十分精査しながら地域活性化策を検討していく。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	大型商業施設と連携し、効果のある観光振興を図る必要がある。
--------	----	-------------------------	-------------------------------

整理番号
176

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	商工業振興対策事業（再掲）					担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	商工振興係
施策項目	3	商業				計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	2	商業経営の安定化の支援				事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	7	1	2	商工業振興対策事業		

目的と方針 【PLAN】	魅力ある商業環境づくり、大型商業施設との共存共栄に向け、商工会や既存事業者と連携し、市民誰もが楽しく過ごせる持続可能な商業地づくりに向けた取組を推進します。		
事業概要 【PLAN】	市内商工業の振興を目的に商工団体等に対する支援を行い、市内商工業の振興・活性化を図ります。		
対象 【PLAN】	市内商工業団体	意図 【PLAN】	市内商工業団体が活性化し市内商工業の振興が図られる。
意図の実現のために必要なこと 【PLAN】	市内商工業の振興へ補助を行う。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	4,440			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	192,756			
	一般財源	千円		375	22,939	23,213			
	事業費合計	千円		375	22,939	220,409			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
商工団体等に対する支援数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6				
			達成率	100.0%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	商工業事業者が加盟する団体への補助であり、産業振興に寄与していることから、社会的需要は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	各種団体へ補助することで広域的な産業振興を図ることができている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事務については補助金の交付事務のため、削減の余地はないと考える。 補助額については、団体と協議しながら補助額を決定していく。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	補助額については、精査等が必要であるが、広域的な産業振興に寄与していることから継続した支援が必要である。

整理番号
177

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	ふるさと納税事務					担当課	商工観光課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	物産振興係
施策項目	3	商業					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	2	商業経営の安定化の支援					事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	1	一般管理費			

目的と方針【PLAN】	魅力ある商業環境づくり、大型商業施設との共存共栄に向け、商工会や既存事業者と連携し、市民誰もが楽しく過ごせる持続可能な商業地づくりに向けた取組を推進します。		
事業概要【PLAN】	ふるさと納税（寄附）を通して伊達市の特産品、名産品等返礼品の登録事業者を増やし、魅力ある返礼品の充実を図ります。		
対象【PLAN】	ふるさと納税返礼品事業者	意図【PLAN】	伊達市のふるさと納税返礼品が充実し、全国の方々が伊達市の魅力を知ることができる。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	事業者説明会や事業者の募集、参画交渉を行うことで、伊達市の特産品、名産品をふるさと納税返礼品として登録する事業者を増やす。また、さまざまな媒体でPRを行い、伊達市の魅力を発信する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		242,674	265,360	281,064			
	事業費合計	千円		242,674	265,360	281,064			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
返礼品登録事業者数	社	実績値が目標値以上となること	目標値	76	82	88	94	100
			実績値	90				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	ふるさと納税返礼品事業者を増やすことで、ふるさと納税の寄付額を増やし、持続可能な商業地づくりにつながるため優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	伊達市ふるさと納税返礼品を充実させるために、ふるさと納税返礼品事業者を増やすための事業者説明会や募集、参画交渉は有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	今まで紙で受付していたワンストップサービスのオンライン化を図り、費用を抑えながら作業時間の削減に努めた。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・目標値を上回る事業者数を登録することができた。 ・年々参加できる事業所を見つけていくことは困難になっていくため、個別に参画交渉を行うなど効率性に課題が残る。

整理番号
178

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	商店街活性化事業（再掲）				担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	商工振興係
施策項目	3	商業			計画期間	令和５年度 ～ 令和５年度
主な取組	3	起業等の支援			事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	7	1	2	商店街活性化事業	

目的と方針【PLAN】	魅力ある商業環境づくり、大型商業施設との共存共栄に向け、商工会や既存事業者と連携し、市民誰もが楽しく過ごせる持続可能な商業地づくりに向けた取組を推進します。					
-------------	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	新たな起業者を育成し、商業の振興、交流人口拡大を促すため、起業支援セミナーを実施します。					
------------	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市内で起業を目指す者	意図【PLAN】	空き店舗活用や市内での新規起業を増加させることで、持続可能な商業地づくりを行うこと。			
----------	------------	----------	--	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	起業にかかる知見を有する事業者に起業セミナー等の開催、運営を委託し、市内の起業機運醸成を図ること。					
----------------------	---	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		2,000	1,040				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		3,569	5,176				
	一般財源	千円		7,363	0				
	事業費合計	千円		12,932	6,216				

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
起業支援セミナー参加人数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	57				
			達成率	100.0%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	セミナーへの申し込みが36名と例年よりも多かったことから、起業へのニーズは一定程度ある。 また、起業希望者の中でも副業としての起業を目指す参加者が多かった。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	セミナーへの参加をとおして、参加者同士のコミュニティが生まれ、互いに交流していることから、目標達成に向けた事業効果が期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	参加者への連絡や情報共有についてはSNSを活用するなど、利便性の向上と費用削減を図った。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	商工業振興対策事業に統合
--------	----	-------------------------	--------------

整理番号
179

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	商工業振興対策事業（再掲）					担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	商工振興係
施策項目	3	商業				計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	4	商業施設の適正な立地誘導				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	7	1	2	商工業振興対策事業		

目的と方針 【PLAN】	魅力ある商業環境づくり、大型商業施設との共存共栄に向け、商工会や既存事業者と連携し、市民誰もが楽しく過ごせる持続可能な商業地づくりに向けた取組を推進します。		
事業概要 【PLAN】	適正な商業地の形成を図るため、伊達市商業まちづくり基本構想に基づく商業施設の誘導を図ります。		
対象 【PLAN】	1,000㎡以上の大型店舗	意図 【PLAN】	適正な商業地形成による商業振興
意図の実現のために必要なこと 【PLAN】	伊達市商業まちづくり基本構想に基づき、商業施設の立地誘導と抑制を図る。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	4,440			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	192,756			
	一般財源	千円		375	22,939	23,213			
	事業費合計	千円		375	22,939	220,409			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
商業施設の相談件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3				
			達成率	100.0%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	大型店舗と商店街が共存共栄できる商業地づくりに寄与することから社会的需要は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	大型店舗の誘導と抑制を図ることで商店街との共存共栄を図ることができ、目標達成に向けた事業効果は期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	費用がないが、案件によっては県への照会等で時間を要する場合もある。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	県の施行規則と本構想に齟齬が発生しているため、県と協議し面積要件等の修正を進めている。